

血友病の血尿の治療

補充療法とステロイドホルモンの併用療法の効果

神奈川県立こども医療センター

血液科 飯塚 敦 夫
長 尾 大

われわれのセンターでは、血友病患者の27.4%に血尿が見られており、同一例に反復する傾向にある。血尿の治療におけるステロイドホルモンの効果に関しては、AbildgaardらやHartmannらは有効と報告し、Rizzaらは無効と報告しており、まだ明らかではない。

われわれは、21症例(血友病A19名、B2名)における42回の血尿について検討した。

ステロイドホルモンは全例に使用し、プレドニソン30~40mg/日を2日間、次いで半量を3日間投与した。第1群は、昭和45年から49年の症例であり、入院の上、AHF(10~15U/Kg)の12時間おき投与を止血後24時間まで、その24時間おきに2回投与した。7回の出血いずれも、72時間以内に止血した。昭和49年よりは、血液製剤を減量する試みを行なった。

すなわち、第2群では、外来にて、AHF(10~15U/Kg)を1ないし2回投与した。27回の出血中21回(77.8%)が24時間以内に止血した。他も6回もAHFの追加投与により、96時間以内に止血した。第3群は、AHFによる補充療法開始後1~5日たって止血しないため、ステロイドホルモンを併用した。6回の血尿の内4回が、併用開始後24時間以内に止血し、他の2回も5日以内に止血した。

このほか、inhibitorを有する2症例(A:I、B:I)にプレドニン20mgを投与したところ、24時間以内に止血した。

2重盲検法ではなく、断定的ではないが、これら3群およびinhibitor症例を比較した場合、ステロイドホルモンの併用は、血尿に対して有効な場合があると思われる。特に、第2群のようにステロイドホルモンと1回の補充療法(10~15U/Kg)にて、約80%の血尿が止血することは、重要な所見と考える。

尚、白血病における検討によると、この程度のステロイドホルモン投与は、副腎機能に対して、一時的な影響しか示さないことが報告されている。

	Hour on which stopped	Episodes of Hematuria	Recurrence within 7 days	Doses of concentrates
Group A (7 patients with hemophilia A:6, hemophilia B:1)	24	3	0	6 - 10
	48	1	0	8
	72	3	0	9 - 14
	72+	0	0	-
	Total	7	0	6 - 14 (Mean 9.5)

	Hour on which stopped	Episodes of Hematuria	Recurrence within 7 days	Doses of concentrates		
				one dose	two doses	more than two doses
Group B (11 patients with hemophilia A:10, hemophilia B:1)	24	21 (77.8%)	1	14	7	0
	48	2	0	1	0	1
	72	3	0	0	0	3
	96	1	0	0	0	1
	96+	0	0	-	-	-
Total	27	1	1 - 8 (Mean 2.1)			

	Hour on which stopped	Episodes after replacement therapy	Episodes after prednisolone therapy	Recurrence within 7 days
Group C (6 patients with hemophilia A)	24	0	4	0
	48	2	1	0
	72	1	0	0
	96	2	0	0
	120	0	1	0
	120+	1	0	0
Total	6	6	0	



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



われわれのセンターでは、血友病患者の 27.4%に血尿が見られており、同一例に反復する傾向にある。血尿の治療におけるステロイドホルモンの効果に関しては、Abildgaard らや Hart-mann らは有効と報告し、Rizza らは無効と報告しており、まだ明らかではない。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



われわれのセンターでは、血友病患者の 27.4%に血尿が見られており、同一例に反復する傾向にある。血尿の治療におけるステロイドホルモンの効果に関しては、Abildgaard らや Hart-mann らは有効と報告し、Rizza らは無効と報告しており、まだ明らかではない。